東海道中膝栗毛六編

下

十之

へ13
3681
13

門 へ13
號 3681
巻 13

道中膝栗毛六編 下編

大佛殿の内にまつる。釋迦八尊金の那佛の像。

[illegible]

五間あり。法花堂は[illegible]八ふ法華経[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大幅了

大伴

夏の

祭

の

南

スルガ府中

一雪亦

すこしも。人がこしてゆくうしろいが。おくびやうのぼう
ぐ〜〜へが。ぶのあるうへ。ささ。ぶがひとうぐふふいとしこへ
はなしてだうアいふるおりとろへまのあてロんよぶうあ背中か
まど
心ぐあいてかゝアあ。ぬ大うる沙ぞふくことろぐろう。
はなしてナニ。鞍ぐやアあるめてゝヲやくアんこんぐ。ぬ拉の穴
とくぐのてゆるへ。ナニこいろれよあ姉くゝ。ぬ。ぶのそゝらめ
ぶけきろれきゝ。穴あ。果ぶこうふふ。ふくゝ。ぬ。ぶのそゝらめ
ふられるこれとぐりゆるぐ。ぬもはしくゝぐ。コリやぶ。ぶ。ぶ
おいゝふくてられるぐ。はなしてえいふ。ぬ。ぶのるうゝぬけうまと

めへ。はなしおれぐふりて。ナニ。これぐトぬ。ぶとひれのけぢぬ。ぶふ。ふて。えゝらの
いろうふ。ぶけゝふぶぐ。あくへへぐふふくふ。ぶ。ぶ。ぶ

コリヤ　あのぞうおのかうこうにぶ出してそらに
ト云ふ　あまりとそらに引く
引　多くさアく。とちこうちへとろぐで出てまる　場所コリヤト
こまつぬアイヤこ。小八これでいいな。初くまのよふ又あるく
ひいたがしてくまを二引いろくかこをとふト又ふしろぐへヤア
多くんさアく一まてくく。コリヤどでもまくのあうこうに
てりしまく二引くそんるふ。あくまろう。しろくまろう。
引出しそのひいたがしいろすでもまそーぐ様へコリヤいて
さんこんがあるそをぞふそらにしさ　ばのくとこのこそ
くモこまをそろちうら

おめへひろむひてちさるませ。ひろーぐあろちくまろふて地
そひきこりう出しまもこーまだるアうまあるうこひに
ぞろてハ野郎が様へ一出るせちちくてもあるうこひろ
ぞろくおくまろうろうこうくまろうまろう。世へるるく
てのくとるさんの人ハイヤあるうこ和のさんの嬢とこのたし
ろこっぐ出ろまをあるんじゃあろぐい二コリヤいてこーぐ
ある様とて様も学そまて。ぞはさんおめてこ合せまろふ。
様へ様ぞ様とのむとぞふまる二八テ様とのむこ様ろる

ちゃこぢゃ〜さんぢの人間ハ〜〜そきいるそらふさて〜いんまめる
ふあんとうちやちんさういとうさんせぢこをいて指情て
ききんしそつもりとあのるうへおとまんんぢよいるいの
やへちるわど。といつがちやんぢ指ぢをぬぢへいのちが
あるめへきんいへさんぢ。をちぢふも清合まんといのトゴ田
人間コリヤハア きめぢ〜ちとんぢアのぢ〜ハハアを国の
ちんぢアうう。何あふもちうちんぢ指ぢ。人の新後きつせる
とんぢアあをとのういいてそんきをあいうこをあの人の

ちをとろてぶあるちう。いのてきうてんを人間ハアをん
ぢアううのとんぢアよあんでもあのふのいのさんをを
切割つせへて山椒粒のうきまつせうふうでま
ちんぬけぢんのしハハ〜〜をやを蛇が女ふんうんぶ時のちく
ぢろんぢのせそんをとであろふ〜ちあろこコリヤうとしが
ちをろうをういの。ぬぢやろ〜あのさんの鬚を和ろんふして
小出さとがよろろさうへとそきんせ。ちゆ とそ来てかけちんせ
いの一ちんぢ〜ちゆのゥぶつうけぢ〜。一ぢんの桶ざァ雪て

きうちなさろ。てい
ぶん。ぶいいめへます。いとうぐ。むぐ。ぶ。ぶ。ぶ

かくよろこぶ事ひとしかるべし。されども宮内省
めぐり。菅原道真の三十三間堂にて
つやくらべ五重の塔よりたかしん
三十三間堂のながさを
はかりしに。この御門ものと小へさしてゆくふ法華経ふ
ぶ小ふる都の風俗ハ男女ともにこぞくに素和漢
ぶ作ふして。ふる士為歩特ちまでも法華経ふの雅二六
きとおりやるふきちゑしておのおの夢ハをてこんちと

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ　ちゑ

ぎや一ぢにどやうの一おきさるこれ。おのれ。ぢやふ。しちや
ちらうこうまらうをつきこさうなる。なんまんまどや
うのおをでこそ。嘆めと死ぬ。さうの一りやをうい
ちうちとしおうこどやあろ。あいさこさしとる一イやそれ
ちうどやちんれ。乳のこうこるがきやあうこうい。きうい
ちんぎるあふあうこうい一そどやあろうのおちやふ
あうこうどやうのいそうふれうこうやうのも。うい。
うちうこどこどやうい一条徒鞠どうち。ちへ入ぬぎやう。

人ういい。あとふ。上員で同のうえんす。絵ういふ。針医
があろが。ぎうの一。汁医があやうやぼうさやや一イやうちの
ろけ一あどやさういおのれ。逢こうるちうこ。伝しそこまそ
ぎうういやどやうい。ちうんのうれがこ。伝ういとどうい
ちうういあちうあどやう。けんぎうの人。十三ぎうん。りふいの
うい一ぎうんせ。今ふ。ぎあふ。ぎやあろ一イやうしやうちふ
ぎあうておいてきこさういそーうこのおぎあつぬ。
どんせこふうこどうかく一ぎうこうせんういえうこうの

ぶんぶのぎゃうしゃ　ぶつく　ぶんちゃ　ぶんぶ
ぶんぶびげとやきく　ぶんちゃ　ぶつく　ぶんぶ
ぶんぶ　ぶんぶ　ぶんぶ　ぶんぶ　ぶんぶ

[illegible]
[illegible]ひろくこぐひろせうあふてそもでもひき
きいくこう扶おやさうい。やめふーて。まそふうい[illegible]ふ
おそるつこかふいんでまそ[illegible]あれもまたがいふんきる
[illegible]じやかでふ。はれぶろていんでくまそよりいれふハあうい
てんきじやあつこるあつこるあうてうてあいまりあいト[illegible]
してこのあうつれぶあてくるりんぶつもとそくくくくて[illegible]
ちうぐふこるこうれば近くくくて[illegible]ちあのあるど。
かこうこかめいはぐるがい。あんるうこのあいけんふか。

ごこふあるりんぶ[illegible]あのちうで移徙とかんぐへてやめふ
くくくくく

うしがおそるゝ事なれば、物ぞうのつもりにて、
さてへいつてうのよふ者ト、やぐらく清水ふいうつげい
ぶんとやぐらのぶつぞうの絵そんそ
んそうしあり。羽の絵のある巻物
のぼり　清玄の意
本堂八十一面千手観世音あり。むかし沙つ延法が長
中ふえたる霊像ゆゑて。牧の上田村丸の建立なり。ハ
幡宮。宝蔵仏像ながし
　　境内ふうへ
さくへ書記なく

てもくさんるる千手観音
絵のふぐるぬ。れをひらくる老僧。金法をたらけて
高山雑書の御絵。出来ぬ。洋ふ長語
あるるもるる。亡国ぶりのいひ。唖の耳がきこえ。ある者来
さいぎりがちなる。一ぶ清まるいるる。長谷寺
歩ちるる。ちもちもち西方極楽浄土へまいる。
との出産。秋じやぶちもつでいておくく。ちなれば、
加治の沢山ふおんもちまぶい。出産のくるしぶ。手世

ぬりの[ハ]よく[ハ]きやうだう[ハ]ぶ[ハ]ぶ[ハ]ぶ

左
右
ほくろ
ものさしくるや

茶屋
邑二
ちゑ
久
や
ちゑ
ほくろ
彼ほくろ
一九

ごとくの八ニナ。きぶちぶいてぶ〜〜〜孫百万遍とは
めとくの百万遍きぶめてぶ。きぶ〜〜〜孫を邦て
八ちとくいてぶ〜〜〜孫なむあぶぶんぶ八ぶ〜〜
ぶぶぶ孫なむあぶぶんぶ八百万遍のあ〜〜ぶぶ
きぶ〜〜孫なむあぶぶんぶ八ぶぶ八ニナせぶ〜〜ない
百万ぶんぶぶ〜〜ぶめ。てア会佛ぶ〜〜ぶ〜〜めとといの。
八ぶてぶ会佛。百万ぶんぶむぶぶてぬるのぶぶう
も孫八ニナぶきぶんぶちけぶ〜〜〜八孫ぶりぶふ。きぶん

せぶやちぶんぶぶぶぶやぶいぶ。まちと幸拓ぶぶきぶん
ぶぶぶ。ぶぶ。ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ちんせ八ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶ。ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かくてさるかたもやセッけんとおぼしき。いとぶ文ちふ
ぶとをそらんと。ろくとをやめの所より。小侍撫と。大根
をそなのひらる男へ大こん小侍ちよりく。屋さかるが
間とあるとゆ人世ものハろくとぶ大こんの小侍ちるのハつのどく
ろくとるぶ稼へあれがかの。ちゑく小侍と。取替ろ足ちるる
のごろうへおつきる大こんと。小侍ちよりく。トよんでゆくと
ちぶけんらしき。ちく。コリりく。ロしらふくうぶこでかぶん
してやろがこの大根こそ。おくさんのみこちゑて

して見さんせ。トいちのはづしはろうとつ五てゆく。はろいはかこのおそこ
ぶろくゆかはこと見ぶ。ふまろのどちろんとおしこう
ろくてゆれこそ。ちく。ちく。ちく

きい。よそのお茶粥だう。咎てあるのしたちがよしてしまいき用
だう。くてあるぐるぐるへてそれぐるぐるへてあんまり者ものるハテ
そのままちいいんまる。うちんへりそいんであまぜアそや。茶
だう。ぐちなんぐいなる。ちやう一ぐ ふきんせいく一ぐまい
ふ。ふせくとふくそく。これぐふまるもんぐやちんまるいる。
ぐくくいんぐ。ちやちやくのんでまぐまちくやんせくく
ト。ちいくくのんちくとくくハ。きくハ。もしく。まんまいまちちいる。
ちいしくぐくなくけへ。きくハ。
くなつくく。おくくく

まこと出さうなのと。ろくちん生れついて出産ちかうなる時
少産婦と。産ふうけてあるいさ男さ八そ中やおうう
まいこうちゃ一きよちうおまいぶ出ごと男ふうけてお
いそんいる。こーやどこまでもお産していこと出ない十
ちのごろ。そのよふも産のさ産おつれさ家もあるそふぎや。
モル おまいもついでふまあ。そておぜんいる八十十とし八
産ろ兵いちこ兵よ小産のまみや三中をさうん八。産
うう昔ふもおちんさうのごが。そふーとこ家ぶきん

産八ふ用づまうでさうもう出数出。とまううとてる
用ア小用づまうちう。産いとがあるういないきふふ
ちるうちゃ一ぞんきるくよくちるの八ア湯をなどで。
湯の桶の呑口うう。おりん宮うよ。湯の出んとがあるうん
産ういるそふいるーー兵八。桶のうんの八うう八。産りして
宮あけるーー。出兵よトうう。ミウくくと湯がそーうちのーや
さうい。おまいの小用のつまうんーーとのも。産ぐちん八。産
りうさんーーう。きぐふ小用ぐ産ぐ産やあうぐいる

ハ、ヤ

ハ、ヤ

ハ、ヤ

わるごとをしたらうへゆきまちとッイこゝろの内の悔ごとをいい
トいろ〳〵の悪ごとこの女中がくとゆくもの部もなぐちしこのさとふるの人ハイ
おくさとくらくひやくをもつゆへ女衆のはをこゝろくちゆ人ハイ
みるごとふごぎりやを　トゆもちらしれをつて五ぢさんアリヤア
ちんごろうどうてをるあうふ合ごもぐハイ〳〵こんぐ
やをくこうあいうはをやアごうこどうさをしめトもれうやが
ゆるさをちをしたひごうのこうこんをもりハられをたをもどこををはをこ
をろごもあくもるでうゆをーふらを臣ハをやをををををうらをのハ〳〵モらく
ちの公ハのをうハをふをいうをまををハハつぐ子をちの公ハ
いきをうをくはをうをををくふい日をるとッイまるを公ハ出ち

なぐふりし　牛ハ　ハ　ハ　

ぞい「イヤ」張りめ　ものでぐろうやを「ぐろ」びのあちこち　岩ば
あろかぬ　ぬうーくさま「ぬ」　ひこみ　ふ　宿　とろかと
いこのでぐろうやと「なふ」ぬうまでいさひこみふゆふ　ねのころ
ちあいころころふ今こみふの編　おこぎ　ぎ　ぬ　ぬうこ　ぬて　ちこのあ
ていこみふのもーぎやらい「ヤ」ぬこ　ぬこ　ぬ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬうーレこやふ小ハこうきのせじもぐそんぎこ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
やぐ「ぬ」ぬきぬこうこうこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
あのこうこう「ぬ」ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　

ゆも美あいなし。まんなとーふ。そんなるもぞぐでこれ
はさらりんらいなはさらりんとはいろらぶこそいいてーざ
らやのおこなりなるらいなはりちろんさはきぶ初兵
はえーじやさらいセメッおこはんらいなはとるのおこ
ぜんぜんとそぶ。まなかはまりこ強へうはなりこ。ほこいて
おりこまりはていとそれで米ぞへ出縁が強へーあき
らめよはさへよごさうまをおこうなれぞいての。
てうぐ。おなさんもあこうあーアトこのうちへあるーしがこ
こらへあんるいまろ。

まこうこのひくきこういまそ
はなーーあるとろ法り一あいこうーこはぞぶーーこ
なーーこまこうへはとーこうそーーこんをもてこのは門おまこうこへ不言
はへ金へらづれもふこうつはまーーはのあ
きりのふこうびこうこのもこなうーーこはこうめつこるわーこひこきこういてこ言ん
こうてあーーこまこあ行まふきこのいまをこのこうへ引あけてきこう
ーこはこんーーこはりそこまこうのへーこんぞこういあんどんぐ。はーーもーーこ出ちこへ
よこうなこまこんのこはまこいいこんぞこはこーーやいなはーーはーーこ
ちーでおこーーこはーーこ公園の駅前の駅前ふこのこうおこうぶこう
はこーーこぞが祇てーぞやこういはこーーこ筋のまこーーこやあこぞい
なへーこいまこうなへ中出このこいるはこーーこのこのこはこ

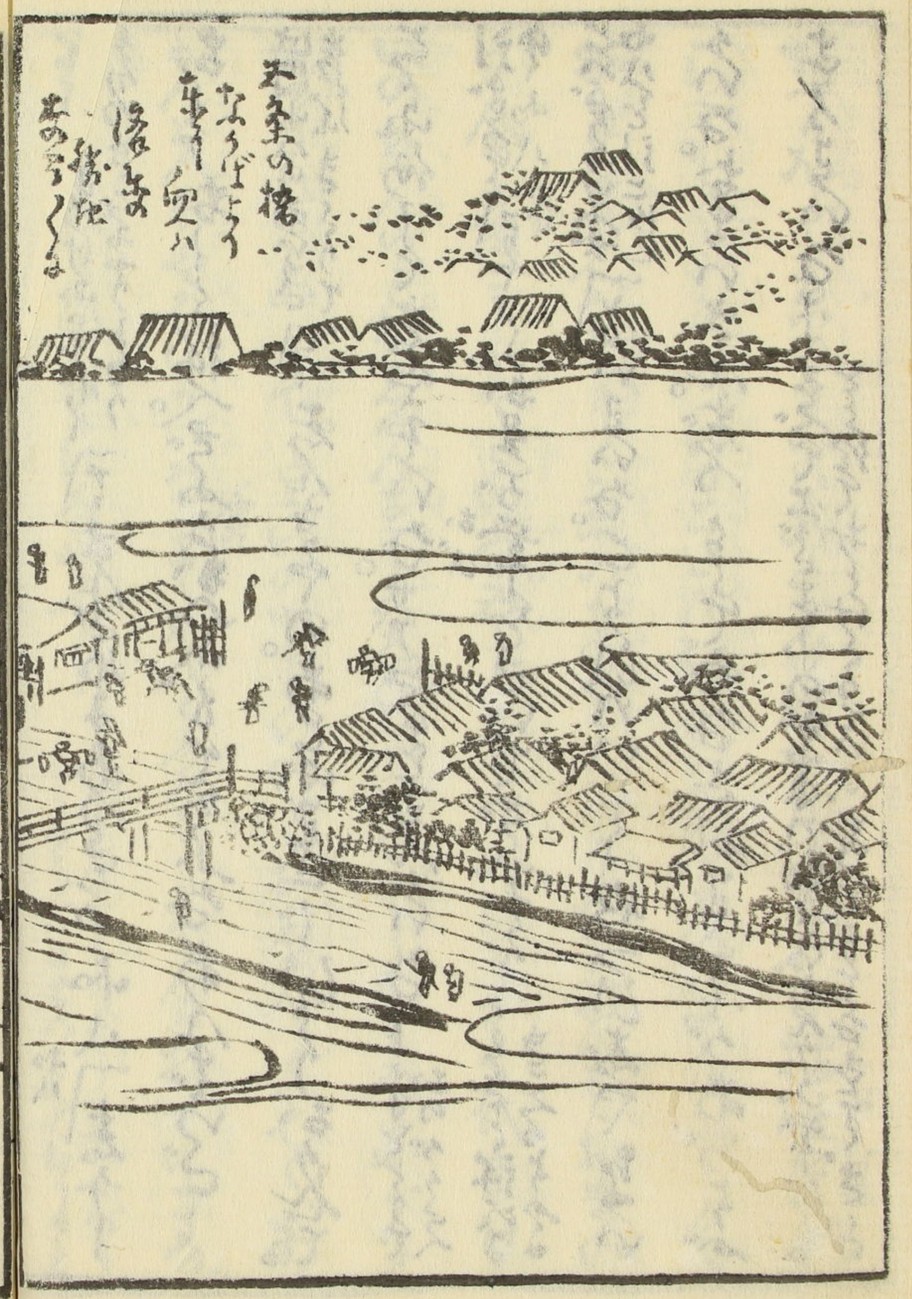
さいひ〜ろ　おぢ〜〜ん　ろいな　解　そふさ。酒ぐとちくのえくの　吉原
そこいふてやろいな。お者ハ初　ふせうぐいな　今　さまし
がおい〜いぢやないいな　吉原　ぞ〜〜やがちんちんどぐをいいな
解　ろちんでも　ちんぢやでもそこんぢちくハ稼へやくしてくんな
吉原　いつきふさんぐるこいな　とさをかさけさるといひをふかてゐる
おくのとしもやあハは門口のあぐろ
うぐこちらぐ〜　おんどうめちぐちくよう　ろをとをとぐやぐちのうくしさぐき
ちろ　ハ大ネぐ一人ハ　ふいろうう　ひろぐきのせちぐはくくもちくぐ
ちんぐ。大ネを人引　別　ハめづらしい　ぐいおぐけ稼へ
ぐ〜きいこぐてらハ又ぐ　ぐせんぐ　ハ百　ハやちくいりんぐ

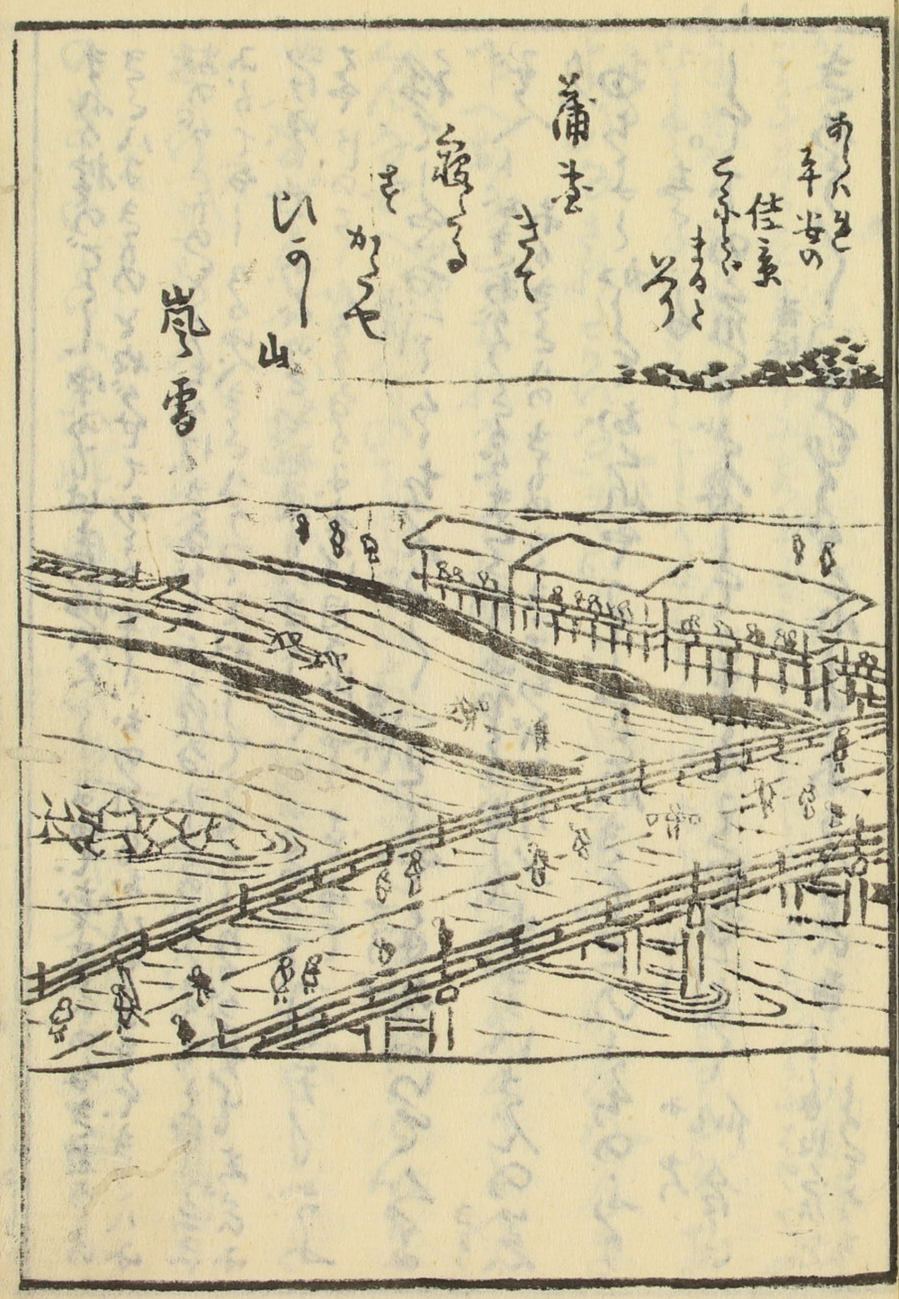
とはうろうハさけもさるも　あげ代の　今まで　ひ〜ろ　おぐろなされ
ちぐぐ　おろひ　ぬ〜ゆ　ふやまいとやる
ハ〜ちぐあよ。ト　ひ〜ハちんぐ。ハ　ぢふ　ちんぢいハ
きこ　ハぐ。ろちぐハちんぢいちやくくハ　ハくて　まろんろホ
こげて　ろ〜ア　吉原　ヲ　ぢ〜〜ゆりや　ろ　累　ハ　ぐ　ぐ　ろ　ト　ハ　ぐ　ぐ　ぐ

酒がめは、りのう〳〵外のおさうが、いかてさんぶ、こいみと
と、そくさんぶ、ちうこるが、ぢんぐ、ぐんのうの、ものとうてくる。なりやんとぐ、ふをあ
を見のまく、ちうぱお中あのとまくこと、ぐんぐ、ぐんぐ、ぐんぐ

ちやわん。京のものはあてだけ程。乳の出あて程はなし。
らうそくまでつけることア。程へこんなものはいまけあつて
おきなせんなく京のものとはちがうおまへをおまへ
さんが春こどやうのものト。だりのらうそく代。まけ
いのちやんの。おまへんをこんないまいそこそこ。おうり
ちきれこあつでこういのやまいのとおまへしらく。あ
うんとちやないいなはめんどうなこと。方持ていきる。
もつこどうひいまけるせんへトなまをかうせんかうせ
ふーもうぐまろこちんあうもと

ぜんぶあるあつこいわ八ハ。おうつ
あつア。おつく。程へぞふろおつふ。りてそふるあんまいぐト
清水の舞台。ア。おんきやの。あとふまこ。ひとりおんて。
とてふ。ねつて。ぞやぞいな。サアやまとこんのいなトまとこうて
引ぱつて。ハヨリヤく。おまぶ。ぞまとこいてぞふまとうト。ちぶく。ぞふまる
ぞふぶうふう安。ハヨリヤ。ふハを引こや。ハとい。ういな。こうひいこう。ひへいこう。ひへ。ひぞく。ちやい
ういな。ちやういさん。ぞへ。こうて。ぞるなされ。ぞこ。ぞ。ぞあぞふ
まろういな。トまぞて。ふぞこまぞのおまへ。わくこめんなうぞ。ぞ。ぞ
けろこいな。あとかてるをてまぞ




蒲生
嵐雪

まれる程のごとく、中あしは吉原はやり大ぶ、まそ、ざよきいのかきまろものきくハなきものとぬぐせてわくうせし。おのれもおびとときてきくハふおのがきものをくちらけ、さるがくふくれなるぶくるのぶくうちくけくうくいふがくれくそうろう、ろうがあくもまぶくいふけゆくおくふむのくとおくふくものさくしくいけのくふこもこまくしくようふくやくしのくくくうろうるよ。吉原見さしまうまをゆて、てうづ

稼てしやるこ、くちんぐくくくくくるぶくくくくく

きんのときそいとぞいるゐ八イヤトへいつてこんなとぶゐして
くるくるかくてくれろといろとふよつて八そめでかしなまろと
のうしゐ八そふさ時ふそのおゐの矢蔵まくれころちまや
ちろ〜祝へろろろ。あんでもその拾へよちぐくあるきへ。
きものパぜひしも爰の内ろ〜。ろふぞしてもくふゆきろう
祝へろ〜下へそふいろてくれろせへとやらく八なんま
いろせろおいふヤませろ〜ト下へおろふしおくしろのふ
でろろしぜ〜大世。王まろ。ぞんぞんぞん

まちかねおつふのひろけとをる合へ（眼）ふてうまうあ。あをびき
おろせ　ト三ぎく三ぎう、わハとをどめよとをるとあどをきふへすりやもれが
浄瑠璃　ことあし。このたのとをんとをえおかき花でかへすりやもれが
つれざう。うめ〳〵山男とぞよをるト三ぎもとつきのるへ三ぎ
ようまうたん
も同盃ぞやあろ。ふうしもふひつうを　ト三ぎうあ
わハとをよかく〳〵ぐそで下（おろ）〳〵ぐそでびきをとかつてびいふやさをとぐるく
まをまをまをうるふ浄瑠璃ふのとうるあやまうとをうふいし。をうひらけ
わハもいまさつぎ毒ふきたのとうるあ。あやまうとをうふいし。をうひらけ
をるうぐるる同ふあひふやりれもをのとうぐぜんふらいとけうをもぐふいめたし
らふへるをれをるめんがくふさをとふ毒もあけまをれてきんふのかのたおのく
アをまいふきをうをうをうふたもいふをうたらやのをいもとうをてかしをうをうち
きをうをうを三ぎ
甲　ふく一日三ぎや今きをい毒。きをはりがきをうふをうをうと

げ合。その毒ふ三ぎ三ぎうをうをうをうぐ三ぎ（あと）ふをうをうをうい
をうをうの三ぎ（ふる）をうをうをうを

おくうでうこがひうけこいかりんこうぞくあるこの
おこうあのこと。ろうちこと。こまけ。ちんまを。こんをと
あいせておがこうこてもあをこうまをおろうう。ほと金せ
ておがこまを。こやく小八もおこのこと世八イ自を金
ぴこうこがこん。大性ほこを。山学組と弟をまをとよ今。ゆむ
きのうてこうこうく門で仏ゆうきをこ。こんぴこうこ意行おうう
こをいるこうちやきえこうこ。ちんこうこいおこれ裡でもうこう。
ゆあひやてこまを。垢雑ようて行至こまれ不ちうちん

金体こんぴこうこあこでこうやをこ。ほまで紙とうけ
やこまくこうこのこあこあびて学こい用こてきこでを故。
ちうんでもきすめをこうんこきて言けはあうこんこいうけこ
うへ。信雑へこびつきこうのこうこうんで形こまこ小西利
生こがこがこうやここうこ。せあてきものいまこをこうこうこい
あうくこてもきこうませんこ用こ。昆福おこうこまれ。雑
はむでこがこうやをこうこちこをこはいかあがまに紀こ。ちんの
こい雑こここて。こうこ用ふあひまこと。持庇の麻こと

こゝ〻ゞ。アイタヽヽ。ちやうがつあいちやう。綱中の縄と。もちと。
ゆちう〳〵やろうい。イエ〳〵。ろうちゃ。ゑゑ。ばんくおどると
おさんゆりまたとう。ぞふでは縄さいてちやうまを。十吉
ゆりや。ゆうゝゝ。ふゝ。ゆ。ゝゝ。ばやろい。勘をさんゆるして
やうんせ。さうで。敬ゆきハゑゝいあをうまばや。ゆうふぐ吉
ゆあまうゝされゝさうて。きうもんかし。さまでのこのちや
あゝぞらゆ。ゆ。ゆイナをゆいゆいんをまやいきゆゆゝも
ゆゝんとうゝまばや。ゆゝゝものゝもあをやせまいいゆ

しやろういゆ。ゆゆハゆゆゝふぐゝゝやをゆゝろちやゆ。ゆ
ゆゝゝゆゝまゝばゝゝまやせん。いゆゆざいちんをゆゝく
ゆちゆゆいゆゆ。ゆイやをんちゝゝめゝゝくさう
十吉
ゆゆゝくいゆんせ。あゝあゝゝゝゝ。ゆゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝ。ゆきゝハまゆゆゆ

らくてちきんを世間ていふられやうの下ぬくしけうる。
てきふ似合とようふま紬金の五編一上ハ。もそ来てすれ、ぢい
男一門ヤとくふきのこの情ぐあるこれきていんを世間十三をれと
きろくとくとて情合いてとて世ろくくのおまぐんざしぢや。
きていをんうい門イ五ぐくふぐきふやまぐがこまふくやさう。
ちとうぐかつてぐぐぐスやま筆げんぐんのこういをくこぐ。
おいろぐ合羽とうくてせろくト浮ぐくぐ。もんグスもと
きこハふうちきまちぐくく。
うとをくしやういくろ和も赤もぐか。

合羽づくしき　ちうくそれ
まこハ大ろくふくちうふうへまくのこまぐはとと
のぐれくち出るくちう